

【基本方針】

「団体生活の枠にとらわれず、家庭生活により近い施設生活の提供を行う」

【年間目標】

- ① 心地良く安全な排泄介助ができる
- ② 心から「気持ちよかった」と感じられる入浴の提供
- ③ 楽しい食事時間を過ごす中で適切な食事介助を行う
- ④ 変化にとんだ楽しく潤いのある生活ができる
- ⑤ 誰もが悔いの残らないターミナルケアを行う

※20周年を迎える令和2年度は、基本に立ち返り、三大介護を見直し、職員全員統一した介護ができるようにすることを大きな柱とする  
（年間目標①②③）

【実践計画】

- ① 心地良く安全な排泄介助ができる
  - ・利用者が不快な思いにならないよう適切なオムツやパット交換ができる
  - ・オムツ交換時は陰部洗浄をおこなうことができる
  - ・オムツ交換、トイレ介助の後、衣類はきれいに整える
  - ・利用者の排尿のサイクルや量、排便リズムが把握できる
  - ・プライバシーを確保し、個々にあった声掛けしながら介助ができる
- ② 心から「気持ちよかった」と感じられる入浴の提供
  - ・利用者の状態に合わせた入浴方法（個浴・一般浴・チェア入浴・ミスト浴）ができる
  - ・着脱場、浴室の清潔が保たれ、環境が整備できる
  - ・入浴前、入浴後のプライバシーの保護に注意する
  - ・浴槽内にいる時は目を離すことなく、体調の変化に注意できる
  - ・全身状態の観察をし、変化があれば速やかに報告ができる
  - ・利用者の個々の着脱手順、入浴手順を把握する
  - ・季節を感じられる入浴時間を作る
- ③ 楽しい食事時間を過ごす中で適切な食事介助を行う
  - ・利用者の安全な姿勢を確保し、横に座り、同じ目線で介助ができる
  - ・個別の食事形態を知り、飲み込んだことを確認し、次の提供をおこなう
  - ・食事や水分摂取の時間を楽しむための環境に気を付ける
  - ・食事内容の声掛けをしながら、急がせることなく提供している

- ・ 毎回食事量、水分量を確認し、利用者の日比の摂取状況を把握できる
- ・ 食後の口腔ケアをおこなう

④ 変化にとんだ楽しく潤いのある生活ができる

- ・ 利用者全員に桜の花を見て頂く
- ・ 月1回、外出レクリエーション（買い物）をおこなう
- ・ 月1回、外食レクリエーションをおこなう
- ・ 月1回、出演ボランティアに来て頂く
- ・ 定期で来て頂ける継続的なボランティア活動の実施（傾聴・アロママッサージ等）
- ・ レクリエーション（個別・集団）のバリエーションを増やす
- ・ 利用者の夢を叶える（行きたい所・やりたい事等）
- ・ 利用者のご家族が気軽に過ごせるコーナーを作る
- ・ ご家族と一緒に楽しめるイベントを企画、実施する
- ・ お誕生日に好きなメニューでお祝いする

⑤ 誰もが悔いの残らないターミナルケアを行う

- ・ 意思を伝えられる利用者には最後をどのように迎えたいか聞いておく
- ・ ご家族との歴史が回想できるような空間を作る
- ・ 利用者が好きだった音楽を居室で流す
- ・ ほっとできるような香りの中で過ごして頂く（アロマや花等）
- ・ 最後の食事として、食べたいメニューを聞き提供する
- ・ 最後の日まで入浴をして頂く
- ・ ご家族とともに最後までその人らしい人生を全うできるよう支援する